



木栄会通信

KITAQ WOODブランドロゴ 国際デザイン賞 受賞！

この度、北九州市における木材利用促進協会の取組であるKITAQ WOODブランドロゴ(<https://kitaqwood.com>)が国際デザイン賞(ASIA DESIGN PRIZE 2026 (アジアデザインプライズ2026))においてWINNER/受賞に選出されました。ASIA DESIGN PRIZEはアジアのデザイン力を世界に広めることを目的として創設された国際的なデザイン賞です。

韓国を拠点とする「DESIGNSORRY(デザインソリ)」が主催運営をしており、ただデザインのみを評価するのではなくアジア独自の文化・感情・哲学を含めた内容を審査する賞です。

そのため、分野は幅広く建物の設計や家具などデザインに対するバックグラウンドまでを審査対象としています。2026では世界33ヶ国より1,515点の応募があり、その中で最優秀賞1点・グランプリ1点・金賞3点・入賞10%の割合で選出されます。

KITAQ WOODロゴマークはロゴデザインにおける高い評価も受けていること

ながら、「伐って使って育てる森林の循環や社会が持続していく未来をつくる」という思いと北九州市の森林資源を活かした地域におけるものづくりといった面が評価され今回受賞いたしました。

北九州市では成熟した市内の森林から生産された木材を住宅用部材として活用するほか、端材を使ったことも大工・森林の役目をつたえる小学校での環境学習・都市生活者に向けたフロダクトデザインなど幅広い分野での林業木材産業に取り組んでおります。

そういった中、最初の取組として製作されたブランドロゴが国際的なデザインアワードに入选したことは大変喜ばしいことです。

「名は体を表す」といわれます。ブランドロゴは取り組みにおける名だと思っております。今回、取り組みまでを含めた内容で国際的な評価を得ることができました。



2月号
Vol. 151

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木栄会事務局
〒八四九-0252

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番二〇

TEL 〇九五五-1011(代表)

FAX 〇九五五-1812(代表)

ていこうと思います。

1月に初めてゴルフ用品店へ行ったのですが正直かなり種類が多くよくわかりませんが。でもたくさん並べたあるゴルフクラブには種類があつて角度や使う場面が違つたという事がわかってきました。パターは知っていたのですがあんなにいろいろな形があるとは驚きました。

よくわからないなりに初心者セットを買おうと思ったのですが叔父がゴルフをしているのでダメもとでこれから始めるから何を買つたらいいかと相談したところ一式もらうことができました。メーカーはDwightというところで果たしてうまく使えるのか？振り方すらわからないという状況です。ですが、道具が無事にとつたので次は練習行きたいと思っています。いろいろ先輩やお客様に聞いたのですがパターから練習したほうが良いとか振り方をしっかり勉強するようにとかさんのアドバイスももらいました。まずは社内の詳しい人から教えてもらつて200をたたかないようになれればと思います。(今のところ200を叩くという意味もわからない感じです)頑張ります！





◎素材

昨年1月より徐々に出材量が増え、集荷順調でしたが昨年より杢丸太の相場が下がり始め不安な年末でしたが、その不安が的中する事となり、初市では杢丸太の直材が何とか2万円台だったのが28日市では大きく下回る事となり左記の結果となりました。杢丸太の出材が多く供給過多となっている事が価格に反映したのと考えられますが、まだまだ底値ではない雰囲気がありこれから値下がりしてしまうと杢丸太が山から出てこなくなってしまうのではないかと懸念いたしてあります。今年は雪の影響も少なく、寒波に

備え購入するという動きが無いのも値下がり止まらない要因の一つだと思います。九州全体で見ると杢丸太は価格も急落しておりますが、逆に杉丸太は値上がりをつけており好調のようです。この事もあり杉丸太の伐採に切り替えられる事業者が増えてくると見込んでおります。需要と供給のバランスを維持する事は難しいですが、山から丸太が出てこなければ市場、製材所は困りますので引き続き集荷販売に努めて参ります。

(本社素材課 T課長)

◎製品

立春を迎えて、ようやく寒さがやわらくなってきましたが、まだまだ寒い時期は続いております。体調に気をつ

かい、春を迎える準備を行っていきましょ。

さて、1月はプレカット工場につきましては、昨年末から1月下旬までは忙しく、機械の稼働率が上がっています。しかし、この忙しい時期が長続きするとは思っておりません。今年度も、住宅着工数が減少すると見込まれています。これに対処する対策ではありませんが、数年前から力を入れている非住宅物件(公共物件)の木質、木造化が進んでおり、若手ではありますが、県産材、市産材製品の利用も進んできていますので、今年も製品に付加価値を付けた販売を強化していきます。製材工場につきましては、間柱の注文が多くなってきました。九州管内でも間柱不足が出てきています。製材機械の稼働率は安定してい

るものの、人件費や燃料費の経費が上がってきており、単価の値上げ要請が出てきています。しかし、製品の動きが低迷している為に、値上げ要請が通らない状況です。昨年は、住宅着工数が減少した事で、製品の荷動きが悪く単価も厳しい状況でしたが、システムキッチンなどの住器メーカーは増収増益したところもあると聞いております。今年度はこの状況を変えられるように対策を考える必要があると思えます。

(営業建設部 U主任)

🎌のぼり半販売!

5月5日のごまの日に向けて、鯉のぼり用の「のぼり竿」の注文を受けており、鯉のぼりには子供の成長を願い、健康で元気に育ってほしい、出世魚にあ

やかたて将来を願うなどの意味が込められているそうです。会員の皆様のお孫さん、ご子息さま向けにもぜひご利用下さい。

【お問い合わせ先】
0800-647116
121
製部 浦川まで

【本社素材 1月当市場相場】※市売結果			
【杢丸太】			
長さ	径級	等級	m/価格 前月比
桧	4m	16cm~18cm	直 19,100円 -1,900円
	4m	16cm~18cm	小曲 18,200円 -1,800円
	4m	20cm~22cm	直 19,100円 -1,900円
	4m	20cm~22cm	小曲 18,100円 -2,100円
	元木 4m	30cm上	24,000円~40,000円 -
【杉丸太】			
長さ	径級	等級	m/価格 前月比
杉	4m	14cm~16cm	直 15,500円 +500円
	4m	18cm~22cm	直 15,000円 -
	4m	18cm~22cm	小曲 13,000円 -
	4m	24cm~28cm	直 15,000円 -
	4m	24cm~28cm	小曲 13,000円 -
	元木 4m	30cm上	13,000円~18,000円 -

【製品 1月当市場相場】			
【グリーン材】			
樹種	品名	m ³ /価格	前月比
桧	GR土台(1等上)		
	4m105×105	55,000円～63,000円	横ばい
	GR土台(1等上)		
杉	3m105×105		
	GR母屋(1等上)	38,000円～40,000円	横ばい
	GR平角(特1)		
	4m105×150～180	40,000円～42,000円	横ばい
	GR平角(特1)		
	4m120×150～180		
	GR小割(1等上)	48,000円～53,000円	横ばい
	30×45・45×45・45×60		
	GR間柱(1等上)	52,000円～58,000円	横ばい
30×105・45×105			
GR野地板2m12×小幅	33,000円～36,000円	横ばい	

【乾燥材】			
樹種	品名	m/価格	前月比
桧	KD土台	80,000円~	横ばい
	KD母屋(特1)	65,000円~68,000円 横ばい	
	KD平角(特1)	4m105×150~180	
杉	KD平角(特1)	4m120×150~180	67,000円~70,000円 横ばい
	KD小割(特1)	30×45・45×45・45×60	
	KD間柱(特1)	30×105・45×105	72,000円~75,000円 横ばい
	AD間柱(特1)	30×105・45×105	
	KD柱(A品)	3m105×105	72,000円~ 横ばい





苗木生産量の増加について

「良い苗がほしい。これは森林整備部に限らず多くの林業関係者が持つ思いです。」

全国で生産される山行用苗木の生産量は、拡大造林の真つ只中の昭和30年代に1600万本を越えていたが、ここ数年は600万本くらいで推移しています。そのような中で、山行用のスギ苗木は平成24年の150万本を底に、上昇に転じ、令和5年度には300万本と倍増しています。(林野庁ホームページより)

この数字にあるとおり、伊万里木材市場が森林整備事業を開始した平成20年頃はササノギの苗を確保することが困難な状況がありました。その後、徐々に規模拡大や新規参入する苗木生産者が増え、平成20年ごろほどの混乱はありません。

また、九州各県は生産者を手厚く支援し、増産を後押ししてきました。安定した生産量を確保し、増え続ける再造林地に苗を供給するためです。いわば国策としての再造林支援と、苗の増産が図られているのです。そして、前述したように生産性が向上して生産量が増えることで、量とともに質の追求も進んでいます。伊万里木材市場が生産している「サカサノギ」というエリートツリーに代表される、優良な性質を持った苗木の生産が注目されています。苗の優良さの評価は、大きく4つに分

かれ、①材積成長量が多いこと、②ヤング係数に代表される材質・機械的性質が良好であること、③幹が通直で利用しやすいこと、④スギなどでは花粉発生量が少ないこと、と言われています。

拡大造林期に強く求められていた発根根張りの良さという点が、近年では花粉量が少ないことに置き換わっています。川下の需要者側の求める材質や、川上の求める育て易さに加えて、花粉飛散の抑制という社会的要請が加わったこと。これは、林業という産業がいかに社会的な産業あるかというところを物語っていると感じます。我々は、森林所有者にかわって植林をすることで、木材資源の循環を担い、国民病となっている花粉症の症状の軽減にも一役を担っているのです。

前述したエリートツリーは、全国の数千品種から選定された優良品種です。それにエリートツリーから精鋭品種を選別された特定母樹という定義もあり、登録されている品種は毎年増えています。質より量から、量も質も。良い苗が多く流通し、目利きの腕がためさわれています。森林整備課員の嬉しい悲鳴が聞えてきそうです。

(福岡営業所 森林整備部 K課長)

立木買います!!

杉・松

0955-2202150



2月に入りまだまだ朝の冷え込みが厳しい状況です。また、北海道や北陸東北地方など大雪による災害も発生しており心よりお見舞い申し上げます。

九州地方では大雪での被害はないと思いますが、インフルエンザなどの感染症の対策をしっかりと行い体調管理に気を付けて安全第一で業務に取り組めればと思います。

それでは南九州営業所の近況報告をいたします。以前紹介いたしました原木出荷者様、杉苗生産者様、運送会社様で構成しております。

森友会の新年会を1月30日(金)に鹿児島市内の天文館にて、会員様15社(16名)と伊万里木材市場本社より伊東社長、池田部長の参加を頂き開催いたしました。



式典では、元明会長様と伊東社長の挨拶を頂いた後、伊万里木材市場の生産に対して、出荷量、売上、社有林の生産量で、それぞれの部署での上位3社感謝状と記念贈呈を行いました。

会員の皆様には日頃より多大なるご支援とご協力を頂き誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

式典終了後は懇親会に全員の参加を頂き貴重な情報交換が出来て有意義な時間となりました。今年も、情報共有を

しっかりと行い連携強化に努めていきたいと思っておりますので、宜しくお願致します。

最後に南九州営業所エリアの市況についてですが、相変わらず輸出業者様の単価が強く市場離れで12,000円/m³、12,500円/m³の単価で流通しており、営業所も輸出向けの港直送は順調なのですが、B材の買取価格とあまり差が無く営業所向けの集荷にはかなり苦戦しております。今後は安定供給につながる様に販売先との単価協議を行い集荷の強化に努めていきたいと考えております。

(南九州営業所 K所長)

二十歳の抱負!!

今年、二十歳を迎える課員に抱負を語ってもらいました!

素材部 本社素材課

岩橋 大牙



今年で2年目、20歳になり、大人になったという自覚を持って、仕事を頑張っています。

岩橋 大牙

木材動向②

住宅着工統計

2025年1月15日発表 1月分
出典：建築着工統計調査報告

概況とコメント

12月の新設住宅着工は、分譲住宅が増加したが、持家・貸家が減少したため、全体で前年同月比1.3%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比7.3%の増加となった。

全国工法別

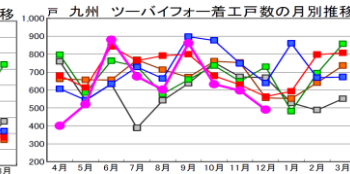
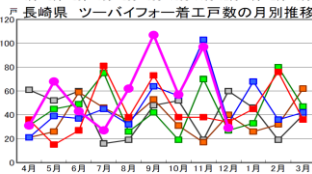
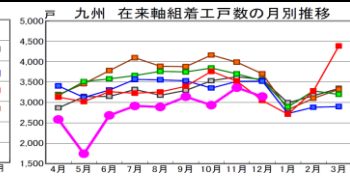
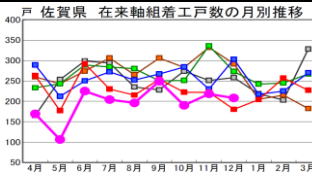
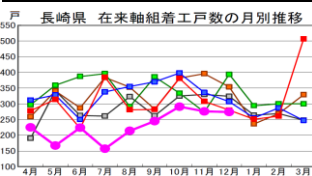
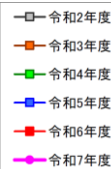
	木造	在来	2×4	木質プレハブ
戸数	37,539	29,316	7,356	867
前年同月比	0.3%	-0.5%	2.8%	8.6%

木質工法の増加は、木質プレハブが0.5%の増加、木造が0.3%の増加、在来軸組が0.3%の増加となった。

全国利用関係別

	合計	持家	貸家	分譲	マンション	戸建
戸数	62,118	17,496	25,518	18,522	7,735	10,638
前年同月比	-1.3%	-1.8%	-3.4%	1.9%	2.5%	1.2%

九州地区・佐賀・長崎の概況
12月の新設住宅着工戸数は、九州地区6,072戸(1.7%減)、佐賀県3,088戸(17.6%減)、長崎県5,414戸(5.8%増)長崎県は増加傾向となった。(※)は対前年同月比



編集後記

◎ 最近、ニュースを見ていて、といつても全部を見ているわけではないが、いろんな国のニュースが、自然災害のニュースから始まる。それもほぼ毎日。こんな経験は初めて、今までに起こったことない状況だと伝える。寒波、大雪、竜巻は洪水、地滑り、などなど。日本も、北波は寒波に見舞われている。寒いニュースばかりかと思いきや、オーストラリアは熱波、襲われ、地域によっては50度越えとか。自然発火で森林や草原で火災が相次いでいるとのこと。なんとも極端だ。極端の度合いも想像を超えてきている。優しくない。それは、私たちが自然に対して優しくないから、自然も私たちに優しくできなくなっているのか？！

か？！ 北米の大寒波で、「イグアナ落下注意報」なるものが発令されたことを少し笑いを交えて報道されていた変温動物のイグアナは気温の低下とともに体温も低下、冬眠状態となり、木をつかんでいられなくなり、落下してしまふらしい。すぐに暖かいところに移動させたらいいらしいが、そうでない場合はそのまま凍死するらしい。笑えない、自然の脅威を前にしてあまりにも無力だ。そういえば、うちの庭先の蛸梅は、昨年は2月末に満開だったが、今年は1月末にすでに満開を迎えた。少しづつ何かが狂っているのか？ それとも、気候変動に適応しているのか？ 昨日は今季一番の寒気で雪が降りたり積もったりした。しかし、他の地域に比べて、この辺りはとても平和だ。自然に感謝！

2月の市日のご案内 市日：2月27日(金)

皆様の御来市を心よりお待ちしております

3月の締日/市日のご案内
締日：3月11日(水)
市日：3月27日(金)